

令和 8 年度
女性支援事業のあらまし
(令和 7 年度実績)

沖縄県女性相談支援センター
沖縄県配偶者暴力相談支援センター

令和8年度女性支援事業のあらまし（令和7年度実績）

目 次

I 沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）の概要

1 沿革-----	1
2 組織及び所掌事務	
(1) 組織図-----	3
(2) 職員構成-----	4
(3) 所掌事務-----	4
3 業務の内容-----	5
4 相談経路図-----	7
5 職員研修-----	8
6 啓発活動-----	11

II 女性支援業務の実績

7 相談状況	
(1) 相談状況（年次推移）-----	12
(2) 相談状況（事務所別）-----	13
(3) 相談状況（居住地別）-----	14
(4) 相談状況（関係機関との連携）-----	15
8 来所相談の状況	
(1) 来所相談状況（経路別）-----	16
(2) 来所相談状況（主訴別）-----	17
(3) 来所相談状況（年齢別）-----	18
(4) 来所相談状況（職業別）-----	18
(5) 来所相談状況（処理別）-----	19
(6) 来所相談状況（売春関係）-----	19

9 電話相談の状況

(1) 電話相談状況（経路別）	20
(2) 電話相談状況（主訴別）	21
(3) 電話相談状況（年齢別）	22
(4) 電話相談状況（処理別）	22
10 心理面接の実施状況	23
11 こころの相談の実施状況	23
12 法律相談の実施状況	24
13 一時保護の状況	
(1) 一時保護状況（年次推移）	25
(2) 一時保護状況（主訴別）	26
(3) 一時保護状況（年齢別）	27
(4) 一時保護状況（経路別）	28
(5) 一時保護状況（相談・同行支援等）	28
(6) 一時保護状況（退所先）	28
(7) 一時保護状況（在所期間）	29
(8) 一時保護状況（同伴児の学習指導・保育）	30

Ⅲ 配偶者暴力相談支援センター（配暴センター）の状況

14 配暴センター相談の状況	
(1) 配暴センター相談状況（相談件数）	31
(2) 配暴センター相談状況（来所・経路別）	32
(3) 配暴センター相談状況（来所・年齢別）	33
(4) 配暴センター相談状況（電話・経路別）	34
(5) 配暴センター相談状況（電話・年齢別）	35
15 保護命令関係	36
16 沖縄県 DV 被害者自立支援事業	37
17 若い世代における恋人からの暴力（デート DV）に係る相談状況	38

I 沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）の概要

1 沿革

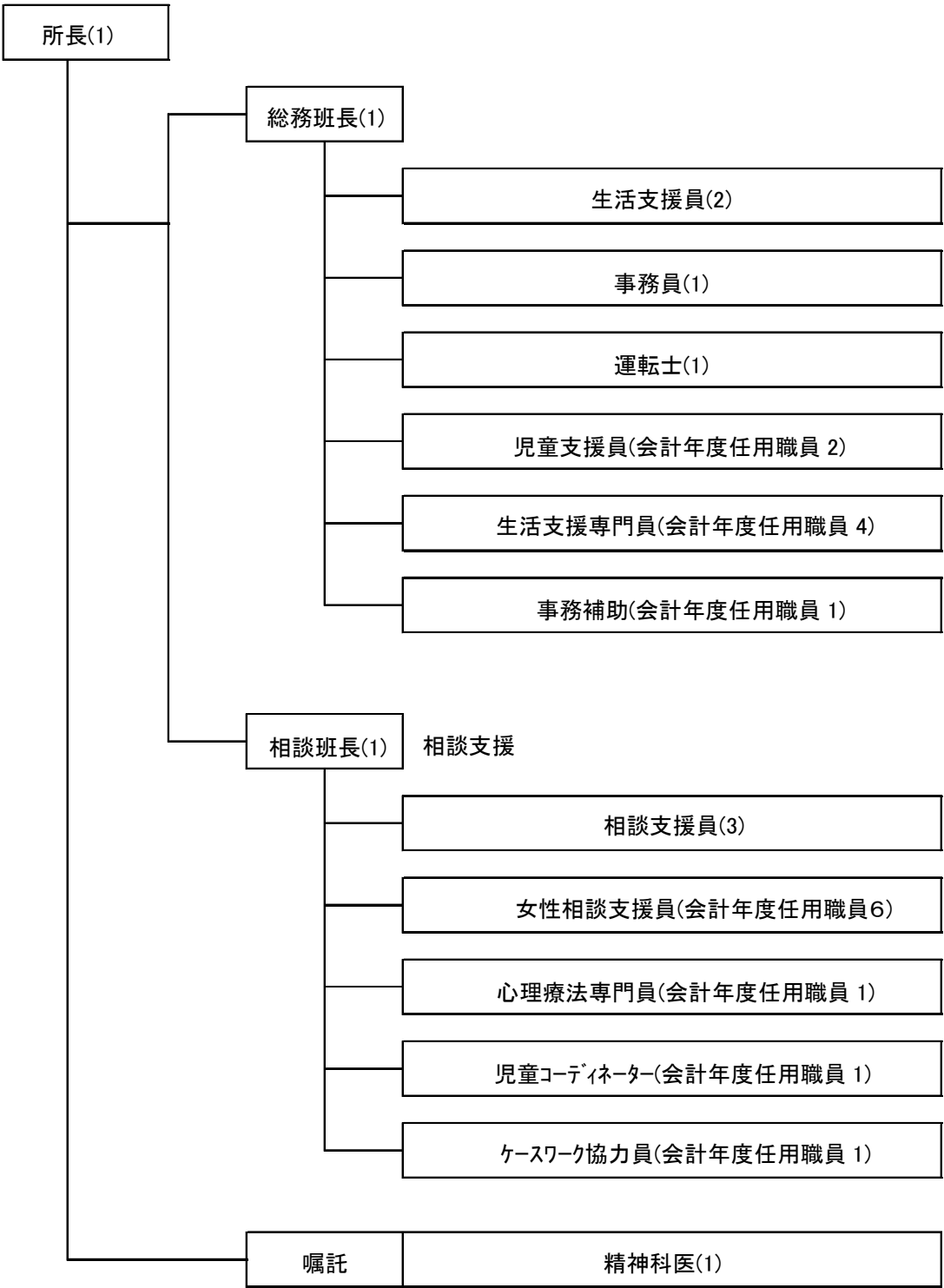
昭和 45 年	7/10	立法第 93 号により売春防止法が公布される
昭和 46 年	11/1	婦人相談員 7 名発令 各福祉事務所に配置 (南部・中部各 2 名、北部・宮古・八重山各 1 名)
昭和 47 年	1 月	(旧) 建物工事着工
	5/15	本土復帰により売春防止法全面適用、婦人相談所設置 所長他職員 12 名発令
	5/29	業務開始、一時保護所（定員 9 名）設置
	8/1	守衛 3 名設置
昭和 48 年	6/15	管理課、相談指導課の 2 課設置
昭和 49 年	3/29	一時保護所増築（定員 20 名）
昭和 53 年	6/1	婦人相談員 5 名が婦人相談所職員として定員化
昭和 55 年	4/1	電話相談の開始
平成 5 年	10/29	沖縄県売春対策推進委員設置規則（昭和 47 年沖縄県規則第 133 号）が 廃止され、沖縄県婦人福祉推進員設置規程（平成 5 年沖縄県訓令第 30 号）が施行される
	11/25	(旧) 事務所及び (旧) 一時保護所改修工事完了
平成 6 年	1/6	婦人福祉推進員発令
	1/10	土・日・祝祭日の電話相談開始（12 月 29 日～1 月 3 日を除く）
平成 7 年	4/1	沖縄県婦人相談所生活指導専門員設置規程（平成 7 年沖縄県訓令第 13 号）施行
平成 8 年	4/1	沖縄県女性相談所に名称変更
平成 10 年	4/1	沖縄県婦人福祉推進員設置規程改正により婦人福祉推進員から女性福 祉推進員へ名称変更
平成 12 年	4/1	沖縄県行政組織規則（昭和 49 年沖縄県規則第 18 号）の改正に伴い、 課制（管理課、相談指導課）廃止
平成 14 年	4/1	配偶者暴力相談支援センターの機能付与
平成 16 年	4/1	児童指導員設置（1 名）
平成 17 年	4/1	生活指導員 1 名増
	7/15	新庁舎竣工

平成 18 年	4/1	北部・宮古・八重山福祉保健所に配偶者暴力相談支援センターの機能付与
平成 19 年	4/1	沖縄県女性福祉推進員設置規程の廃止 調理士 1 名増
平成 21 年	4/1	調理士 1 名増
平成 23 年	4/1	沖縄県婦人相談員設置規程（昭和 62 年沖縄県訓令第 7 号）改正により 婦人相談員から女性相談員へ名称変更 中部・南部福祉保健所に配偶者暴力相談支援センターの機能付与 （女性相談員各 1 名配置）
平成 24 年	4/1	児童指導員 1 名増、中部福祉保健所女性相談員 1 名増
平成 27 年	4/1	女性相談所 女性相談員 1 名増 北部福祉保健所 女性相談員 1 名増 中部福祉保健所 女性相談員 1 名増
平成 28 年	4/1	福祉保健所が福祉事務所と保健所へ組織変更 沖縄県行政組織規則の改正により総務班、相談班の 2 班体制へ移行 調理士 1 名減、調理専門員（一般職非常勤職員）2 名増 児童指導員、生活指導専門員、女性相談員及び心理療法専門員が嘱託員から一般職非常勤職員に変更
平成 30 年	4/1	生活指導専門員 1 名増
令和 2 年	4/1	女性相談員、児童指導員、生活指導専門員、調理専門員、心理療法専門員が一般職非常勤職員から会計年度任用職員に変更 会計年度任用職員の児童コーディネーター 1 名増、ケースワーク協力員 1 名増。嘱託の弁護士 2 名は委託へ変更
令和 3 年	4/1	会計年度任用職員の事務補助が 1 名増
令和 4 年	4/1	調理業務は委託へ 調理士 1 名減、会計年度任用職員の調理専門員 4 名減
令和 6 年	4/1	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行 沖縄県女性相談所から沖縄県女性相談支援センターへ名称変更 生活指導員から生活支援員へ、相談指導員から相談支援員へ、児童指導員から児童支援員へ、生活指導専門員から生活支援専門員へ、女性相談員から女性相談支援員へ名称変更
令和 7 年	4/1	会計年度任用職員の女性相談支援員 1 名増

2 組織及び所掌事務

2-(1) 組織図（令和8年4月1日現在）

総人数：27人（職員10人、会計年度任用職員16人、嘱託1人）



()内の数字は人数

2-(2) 職員構成（令和8年4月1日現在）

（単位：人）

		人数	内訳		
			常勤	非常勤	嘱託
所長		1	1	-	-
総務班	班長	1	1	-	-
	生活支援員	2	2	-	-
	事務員	1	1	-	-
	運転士	1	1	-	-
	児童支援員	2	-	2	-
	生活支援専門員	4	-	4	-
	事務補助	1	-	1	-
	小計	12	5	7	-
相談班	班長	1	1	-	-
	相談支援員	3	3	-	-
	女性相談支援員	6	-	6	-
	心理療法専門員	1	-	1	-
	児童コーディネーター	1	-	1	-
	ケースワーク協力員	1	-	1	-
	小計	13	4	9	-
精神科医		1	-	-	1
合計		27	10	16	1

2-(3) 所掌事務

総務班	● 予算に関すること。 ● 施設管理に関すること。 ● 庶務に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族の緊急時の安全確保及び一時保護に関すること。
相談班	● 困難な問題を抱える女性に関する各般の問題の相談及び相談機関の紹介に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族の緊急時の安全確保に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族の心身の健康の回復を図るための医学的又は心理学的な援助等に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族が自立して生活することを促進するための必要な支援、情報提供、助言、関係機関との連絡調整その他の援助に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族が居住して保護を受けることができる施設の利用についての援助等に関すること。 ● 配偶者暴力相談支援センターに関すること。

3 業務の内容

女性が抱える問題は、生活困窮、配偶者等からの暴力、人間関係の破綻など複雑多様化している。支援にあたっては、相談者本人の意思を尊重しながら最適な支援に努め、その心身の健康の回復と安全確保及び人権の擁護に努めることが最も重要である。したがって、支援の進め方については、あくまでも相談者の意思を尊重して相談者に寄り添い、共に考えていく姿勢が求められる。また、相談者が自己決定するための情報や選択肢の提示を含めた意思決定の支援等を行うことが必要である。

以上を踏まえ、女性相談支援センターの業務内容は、次のとおりとしている。

(1) 相談

本人の意思を尊重し最適な支援に努め、心身の健康の回復と安全安心の確保及び人権の擁護に努める。

また、配偶者暴力相談支援センター（県の各福祉事務所）や関係機関と連携をとりながら、DV 被害者の相談にあたる。

なお、これらの相談のうち、法律による解決が必要とされるケースや精神科医の判断が必要なケース等については、弁護士（委託）や精神科医（嘱託）の面談などを行っている。

【受付時間】 年末年始を除く下記の時間

相談の方法	相談時間
① 電話による相談 幅広く女性からの相談に応じられるよう、土日・祝日も女性相談支援員による電話相談を行っている。	月～金曜日 8:30～17:15 (受付は原則 17:00 まで)
	土・日・祝日 8:30～12:00 13:00～16:30 (受付は原則 16:00 まで)
② 来所による相談 来所する相談者に対し、女性相談支援員が相談を受けている。	月～金曜日 8:30～17:15 (受付は原則 16:00 まで)

(2) 面接及びアセスメント

本人及びその家庭環境などについて、必要な面接及びアセスメントを行い関係機関との調整を行う。

また、内在している心理的、精神的、身体的な問題を理解し、医学的、心理学的アセスメントを実施し、支援にあたる。

(3) 一時保護

困難な問題を抱える女性及びその同伴家族について、本人の訴えや状況から要保護性や緊急性を判断するとともに本人の意向を確認したうえで一時保護を行う。

一時保護は、「受理会議」を経て決定し、一時保護後は、健康状態の把握、医学的又は心理学的支援等の必要な支援を実施しながら自立に向けて支援を行う。

(4) 自立支援

困難な問題を抱えた女性が自らその問題を解決できるよう、本人の意向を踏まえ関係機関と連携しながら、情報の提供や助言、又は社会資源の活用等により、自立に向けた支援を行う。

また、中長期的に心身の健康の回復を図り、自立支援を行う必要があると認められた場合には、本人の申請により女性自立支援施設への入所決定を行う。

(5) 啓発活動

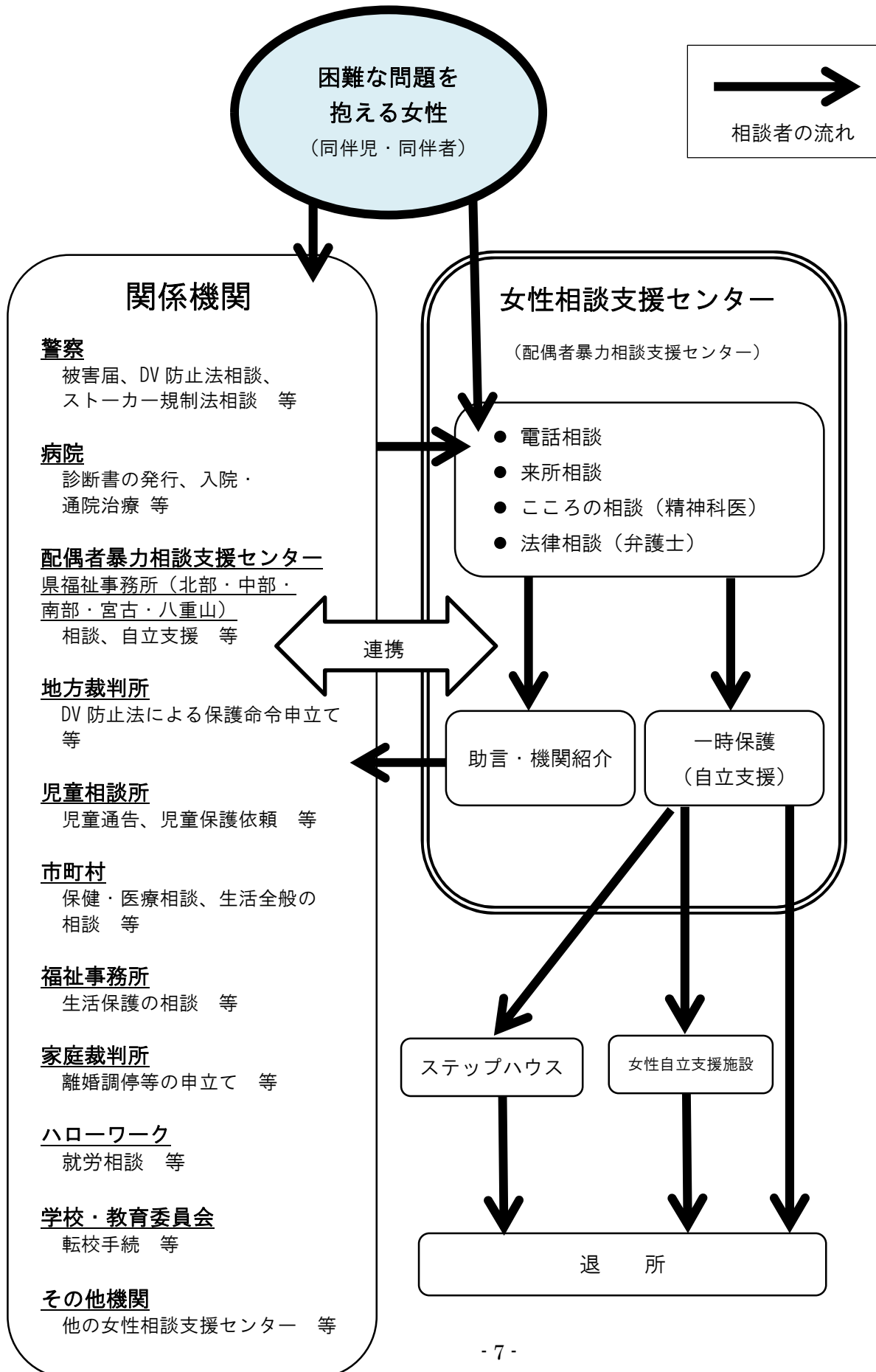
女性支援事業について広く理解と協力を得るため、「女性支援事業のあらまし」を発行する。

また、関係機関の理解を得るため、要請に応じて研修会等への講師派遣を行う。

(6) 関係機関との連携

女性支援事業の円滑な推進のため、警察、配偶者暴力支援センター、市町村、福祉事務所等との連携を図る。

4 相談経路図



5 職員研修

【令和7年度職員等研修参加実施状況】

No	研修会名	開催日	主催者、講師等	参加者数
1	令和7年度 児童相談所新任・転入職員、市町村家庭児童相談員等合同研修	R7.4.15～16 R7.4.25～27	沖縄県中央・コザ児童相談所 主催 講師：大学講師、弁護士、児相職員等	4名
2	女性相談支援センター所内研修会	R7.4.25	女性相談支援センター主催 講師：センター職員	27名
3	依存症医療研修「変わりたい気持ちを育むアプローチ」～動機付け面接「是認」はパワフル	R7.6.16	沖縄リハビリテーション病院 TAPIC アディクションセンター 講師：札幌学院大学 北田雅子	2名
4	沖縄こどもの貧困緊急対策事業「保健に関する相談支援事業」フォーラム「沖縄に必要な性教育のカタチ VOL2」	R7.6.22	沖縄県、一般社団法人沖縄いのちにエールを贈る会 講師：立教大学 浅井春夫 他	1名
5	DV(配偶者間暴力)防止について考える講座 二次加害を防ぐために①(前編)	R7.7.11	更生保護法人がじゅまる沖縄 DV加害者更生相談室	4名
6	令和7年度ヤングケアラー関係機関職員研修「ヤングケアラーへの理解を深めるシンポジウム」	R7.7.22	沖縄県 講師：NPO 法人となりのかいご代表理事 川内潤 他	3名
7	令和7年度配偶者暴力対策業務に関するオンライン全国ミニ会議	R7.7.28	内閣府(オンライン)	1名
8	令和7年度 アルコール依存症支援者研修「巻き込まれない・燃え尽きない効果的な支援のコツ～アルコール依存症支援者のセルフケア～」	R7.7.29	沖縄県立総合精神保健福祉センター主催 講師：元神奈川県立精神医療センター心理相談所長 水澤 都加佐	2名

9	DV(配偶者間暴力)防止について考える講座 二次加害を防ぐために②(後編)	R7.8.7	更生保護法人がじゅまる沖縄 DV加害者更生相談室	4名
10	女性相談支援員新任(養成)研修	R7.8.20、 22	おきなわ女性財団主催 講師:NPO 法人女性ネット Saya-Saya 共同代表 松本 和子氏 他	5名
11	女性関連施設相談員・相談事業担当者研修	R7.8.27 ～ R7.9.30	独立行政法人国立女性教育 会館 講師:前母子生活支援施設「カ ーサ・ライラック」施設長 高倉富美子 他	9名
12	女性相談支援員定例研修 「今、沖縄で起きている現状～その中 で私たちにできること～」	R7.8.29	おきなわ女性財団主催 講師:一般社団法人女性を元 気にする会 代表理事 ゴージャス理枝	4名
13	DV(配偶者間暴力)防止について考える講座特別講演	R7.9.11	更生保護法人がじゅまる沖縄 DV加害者更生相談室 講師:琉球大学教授 田中寛二	4名
14	女性相談支援員定例研修 「トラウマ対応のヒント」	R7.9.25	おきなわ女性財団主催 講師:NPO 法人サポートセン ターゆめさき 代表理事 松本 大進	4名
15	令和7年度 全国女性相談支援員研究 協議会	R7.10.2、 3	厚生労働省・大分県主催	2名
16	令和7年度 沖縄県地域生活定着支援 事業連絡会議	R7.10.10	沖縄県社会福祉協議会/沖縄 県地域生活定着支援センター	1名
17	困難な問題を抱えた女性を支援する研 修会	R7.10.23	しののめケアハウス・しののめ ケアハウス運営委員会 講師:女性力・ダイバーシティ推進 課	1名
18	女性相談支援員定例研修 「権利擁護とは～支援者の役割～」	R7.10.22	おきなわ女性財団主催 講師:沖縄統合医療学院 学科長 竹藤 登	5名
19	女性相談支援員定例研修 「沖縄における性暴力」	R7.11.6	おきなわ女性財団主催 講師:沖縄県警本部 生活安 全部 人身安全対策課	4名

20	児童相談所等相談機関関係職員研修	R7.10.24	沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター主催 講師：フェリアン 津村 薫 他	2 名
21	女性相談支援員定例研修 「国際結婚・離婚にまつわるハーグ条約 と家族問題」	R7.11.25	おきなわ女性財団主催 講師：外務省ハーグ条約室長 江端 康行 ゆい法律事務所弁護士 松崎暁史	4 名
22	女性相談支援員定例研修 「共同親権」	R8.1.30	おきなわ女性財団主催 講師：法テラス沖縄法律事務 所 弁護士 橋本典子	4 名
23	令和7年度性暴力被害者のための医 療関係者・支援機関等従事者研修	R7.11.29 ～ R8.1.24	公益社団法人沖縄県看護協 会 講師：中島幸子、安永智美、 後藤弘子	1 名
24	第3回 女性支援新法全国フォーラム	R8.1.26	朝日新聞社主催 厚生労働 省 講師：厚生労働省室長、松本 伊智朗 他	2 名

6 啓発活動

【令和7年度 各種研修会講師派遣状況】

No	研修会名	開催日	テーマ及び内容等	受講者	受講者数
1	令和7年度女性相談支援員新任(養成)研修(計4回実施)	R7.7.3 ～8.28	女性相談支援員の役割と連携 ～つながる機関、つなげる役割について～	女性相談支援員希望者、実務経験2年未満の相談支援員、女性支援に関心のある方、行政職員	127名
2	犯罪被害者支援者研修会	R7.7.5	「女性相談支援センターの役割と連携」について	犯罪被害者支援相談業務(初級)を希望する者	24名
3	「人身安全関連事案対策専科教養」の実施	R7.7.8	女性相談支援センターの役割(業務)及び警察との連携による被害者支援対策について	人身安全関連事案対策専科教養学生	17名
4	令和7年度 被害者支援専科	R7.8.5	女性相談支援センターにおける被害者支援について	各警察署の被害者支援業務担当警察官	14名
5	沖縄いのちの電話養成講座	R7.12.4	沖縄におけるDVの現状及び対応について	いのちの電話相談員業務を希望する者	17名

Ⅱ 女性支援業務の実績

7 相談状況

7-(1) 相談状況（年次推移）

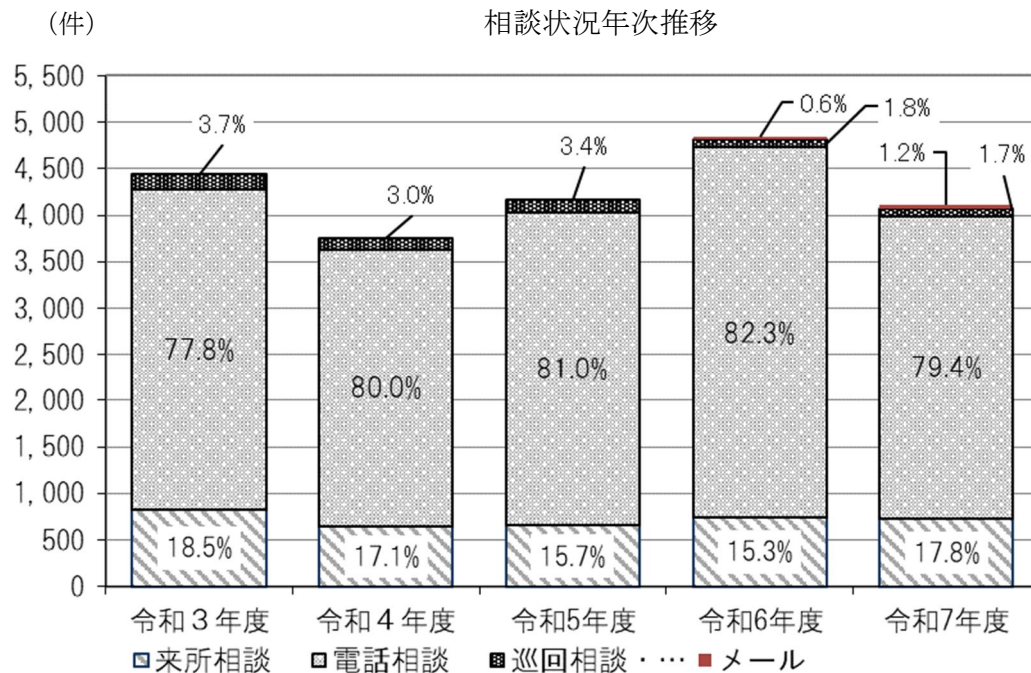
令和7年度の女性相談支援センター及び各福祉事務所の相談件数の合計は、前年度に比べ減少している。相談のうち、DVに関する内容を含むものは、相談全体の71.4%を占めている。

（単位：件）

年度 相談方法	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来所相談	823 (754)	639 (583)	653 (608)	741 (642)	730 (624)
電話相談	3,456 (2,604)	2,996 (2,121)	3,379 (2,330)	3,986 (2,632)	3,263 (2,196)
巡回相談・出張相談	165 (163)	111 (108)	140 (139)	87 (80)	71 (68)
メール	- -	- -	- -	29 (27)	48 (46)
その他	- -	- -	- -	- -	- -
合 計	4,444 (3,521)	3,746 (2,812)	4,172 (3,077)	4,843 (3,381)	4,112 (2,934)

（ ）内は、相談内容にDVを含む者の再掲

- ※ 表は、女性相談支援センター及び各福祉事務所で受けた相談の合計数
- ※ 令和6年度から新たにメール、その他の項目を加えた
- ※ 表中「メール」については、メールで問い合わせがあったものを計上



※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

7-(2) 相談状況（事務所別）

県には、女性相談支援員（会計年度任用職員）が14人（女性相談支援センター6人、中部福祉事務所4人、北部福祉事務所、南部福祉事務所、宮古福祉事務所、八重山福祉事務所は各1人）が配置され、来所や電話、出張により相談に対応している。

【令和7年度実績】

（単位：件）

事務所 相談方法	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計
来所相談	180 (145)	23 (22)	215 (195)	158 (110)	88 (88)	66 (64)	730 (624)
電話相談	1,917 (1,009)	49 (45)	630 (579)	305 (207)	257 (253)	105 (103)	3,263 (2,196)
巡回相談・出張 相談	11 (10)	- -	19 (19)	6 (4)	10 (10)	25 (25)	71 (68)
メール	7 (5)	- -	2 (2)	- -	- -	39 (39)	48 (46)
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
合 計	2,115 (1,169)	72 (67)	866 (795)	469 (321)	355 (351)	235 (231)	4,112 (2,934)

（ ）内は、相談内容にDVを含む者の再掲

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 表中「メール」については、メールで問い合わせがあったものを計上

7-(3) 相談状況（居住地別）

相談者の居住地は、下表のとおり

【令和7年度実績】

（単位：件）

相談方法 市町村名	来所		電話		出張・巡回		メール		その他		合計	
		内DV		内DV		内DV		内DV		内DV		内DV
那覇市	71	66	541	308	8	7	3	2	-	-	623	383
宜野湾市	35	31	235	144	3	3	1	1	-	-	274	179
石垣市	61	58	107	93	24	24	39	39	-	-	231	214
浦添市	29	17	129	82	1	1	-	-	-	-	159	100
名護市	11	10	71	41	-	-	-	-	-	-	82	51
糸満市	30	24	129	65	3	3	1	-	-	-	163	92
沖縄市	56	51	222	173	2	2	-	-	-	-	280	226
豊見城市	7	7	73	48	-	-	-	-	-	-	80	55
うるま市	42	38	197	136	8	8	-	-	-	-	247	182
宮古島市	93	93	287	274	10	10	-	-	-	-	390	377
南城市	10	8	65	38	1	1	-	-	-	-	76	47
国頭村	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	4	4
大宜味村	5	5	10	9	-	-	-	-	-	-	15	14
東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
今帰仁村	3	3	15	14	-	-	-	-	-	-	18	17
本部町	6	6	10	10	-	-	-	-	-	-	16	16
恩納村	2	2	23	17	-	-	1	1	-	-	26	20
宜野座村	4	4	24	20	-	-	-	-	-	-	28	24
金武町	3	2	28	13	-	-	-	-	-	-	31	15
伊江村	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	3	2
読谷村	17	17	82	73	1	1	-	-	-	-	100	91
嘉手納町	14	12	46	42	1	1	-	-	-	-	61	55
北谷町	34	29	121	96	2	2	-	-	-	-	157	127
北中城村	7	5	25	16	-	-	1	1	-	-	33	22
中城村	19	10	88	50	2	1	-	-	-	-	109	61
西原町	39	27	147	109	1	1	-	-	-	-	187	137
与那原町	13	7	55	36	-	-	-	-	-	-	68	43
南風原町	46	35	94	64	-	-	-	-	-	-	140	99
渡嘉敷村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
粟国村	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊平屋村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久米島町	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1
八重瀬町	55	42	148	108	2	1	-	-	-	-	205	151
多良間村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
竹富町	2	2	5	5	-	-	-	-	-	-	7	7
与那国町	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
南部地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北部地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県外	10	10	34	34	2	2	-	-	-	-	46	46
不定・不明	6	3	242	70	-	-	2	2	-	-	250	75
計	730	624	3,263	2,196	71	68	48	46	-	-	4,112	2,934

内DV＝相談内容にDVを含む者の再掲

※ 表中「メール」については、メールで問い合わせがあったものを計上

7-(4) 相談状況（関係機関との連携）

女性相談支援センター及び各福祉事務所で相談を受けた後、関係機関へ情報提供や調整等を行った件数は、市等他の女性相談支援員が最も多く 898 件、次いで他の相談機関 603 件、警察関係 377 件の順となっている。

【令和7年度実績】							
(単位：件)							
事務所 関係機関	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計
警察関係	161 (115)	7 (7)	109 (104)	5 (4)	82 (81)	13 (13)	377 (324)
法務関係	15 (11)	2 (2)	66 (66)	12 (10)	61 (61)	13 (13)	169 (163)
他府県の女性相談 支援センター	5 -	- -	- -	- -	- -	14 (14)	19 (14)
他の女性相談支援員	480 (346)	19 (18)	183 (164)	26 (20)	164 (161)	26 (26)	898 (735)
福祉事務所	116 (80)	9 (9)	22 (18)	2 (1)	- -	1 (1)	150 (109)
他の相談機関	289 (177)	21 (17)	117 (110)	52 (35)	92 (92)	32 (31)	603 (462)
社会福祉施設等	29 (21)	- -	4 (3)	- -	- -	- -	33 (24)
医療機関	41 (34)	1 (1)	11 (9)	- -	- -	12 (12)	65 (56)
教育関係	6 (2)	- -	- -	- -	1 (1)	4 (4)	11 (7)
労働関係	2 (1)	- -	- -	- -	- -	1 (1)	3 (2)
その他	40 (26)	5 (4)	49 (38)	- -	2 (2)	11 (11)	107 (81)
計	1,184 (813)	64 (58)	561 (512)	97 (70)	402 (398)	127 (126)	2,435 (1,977)
() 内は、相談内容にDVを含むものの再掲							

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

8 来所相談の状況

8-(1) 来所相談状況（経路別）

相談経路を見ると、本人自身が最も多く 521 件、次いで他の相談機関が 68 件となっている。

【令和7年度実績】

(単位：件)

相談経路 主訴別			本人 自身	警察 関係	法務 関係	セ ン タ ー	他府県 の女性 相談 支援	福 祉 事 務 所	他の相談機関				社会 福祉 施設 等	医療機関			教 育 関 係	労 働 関 係	民間 シ ェ ル タ ー	縁 故 者 ・ 知 人 等	DV セ ン タ ー	ワ ン ス ト ッ プ 支 援 体	民 間 の 他	合 計	
									児 童 相 談 所	民 生 委 員 会	そ の 他	小 計		保 健 所	医 療 施 設	小 計									
人間関係	夫等	夫等からの暴力	417	24	9	-	46	9	1	-	36	37	-	6	4	10	-	-	2	3	-	1	-	-	558
		薬物中毒・酒乱	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		離婚問題	32	2	-	-	3	-	1	-	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
		その他	8	1	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
	子ども	子どもからの暴力	3	1	-	-	-	-	1	-	2	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8
		養育困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	3	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	親族	親の暴力	14	1	-	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	22
		その他の親族からの暴力	8	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	14
		その他	3	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	交際相手	交際相手からの暴力	19	9	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	1	35
		同性の交際相手からの暴力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		その他の者からの暴力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	男女問題	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
		ストーカー被害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		家庭不和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
		生活困窮	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
経済関係	サラ金・借金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	求職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	病気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
医療関係	精神的問題	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	妊娠・出産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	住居問題	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
帰居先なし	3	2	-	-	-	-	1	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9		
年少者の性的課題	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
暴力関係者等による支配・依存	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5条違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
売春強要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
人身取引	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計			521	41	9	-	52	12	6	-	62	68	-	8	5	13	-	-	3	8	-	1	-	2	730
新規			46	11	2	-	1	4	1	-	9	10	-	2	1	3	-	-	2	3	-	1	-	1	84
再来			475	30	7	-	51	8	5	-	53	58	-	6	4	10	-	-	1	5	-	-	-	1	646

8-(2) 来所相談状況（主訴別）

令和7年度の相談の主訴は、「夫等からの暴力」が約8割(77.3%)を占めており、人間関係に係る相談が97.8%とほとんどを占めている。

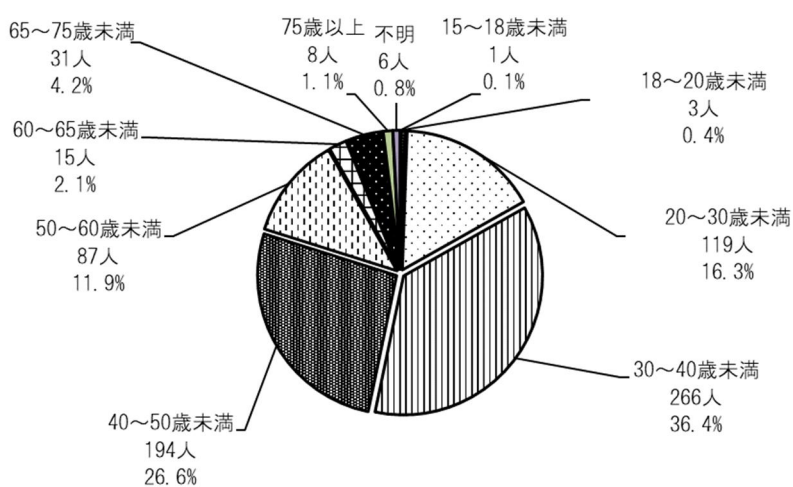
主訴別			年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率	
人間関係	夫等	夫等からの暴力	521件	79.8%	557件	75.2%	564件	77.3%	
		薬物中毒・酒乱	2件	0.3%	3件	0.4%	2件	0.3%	
		離婚問題	51件	7.8%	52件	7.0%	41件	5.6%	
		その他	5件	0.8%	16件	2.2%	11件	1.5%	
	子ども	子どもからの暴力	5件	0.8%	18件	2.4%	8件	1.1%	
		養育困難	-	-	-	-	-	-	
		その他	7件	1.1%	6件	0.8%	5件	0.7%	
	親族	親の暴力	21件	3.2%	20件	2.7%	22件	3.0%	
		その他の親族からの暴力	10件	1.5%	21件	2.8%	15件	2.1%	
		その他	3件	0.5%	-	-	4件	0.5%	
	交際相手	交際相手からの暴力	6件	0.9%	28件	3.8%	26件	3.6%	
		同性の交際相手からの暴力	1件	0.2%	-	-	-	-	
		その他	-	-	-	-	1件	0.1%	
	その他の者からの暴力		-	-	2件	0.3%	-	-	
	男女問題		1件	0.2%	2件	0.3%	3件	0.4%	
	ストーカー被害		2件	0.3%	2件	0.3%	-	-	
	家庭不和		4件	0.6%	-	-	-	-	
	その他		5件	0.8%	1件	0.1%	12件	1.6%	
	小計		644件	98.6%	728件	98.2%	714件	97.8%	
	経済関係	生活困窮		4件	0.6%	5件	0.7%	2件	0.3%
サラ金・借金		-	-	1件	0.1%	-	-		
求職		-	-	-	-	-	-		
その他		-	-	2件	0.3%	1件	0.1%		
医療関係	病気		-	-	-	-	-	-	
	精神的問題		3件	0.5%	2件	0.3%	2件	0.3%	
	妊娠・出産		-	-	-	-	-	-	
	その他		-	-	-	-	1件	0.1%	
住居問題		1件	0.2%	1件	0.1%	1件	0.1%		
帰住先なし		-	-	2件	0.3%	9件	1.2%		
年少者の性的課題		-	-	-	-	-	-		
売春強要		1件	0.2%	-	-	-	-		
暴力団関係者等による 支配・依存		-	-	-	-	-	-		
5条違反		-	-	-	-	-	-		
人身取引		-	-	-	-	-	-		
合計		653件	100.0%	741件	100.0%	730件	100.0%		
※ 比率の小数点第2位を四捨五入しているため、小計が一致しない場合がある。 ※ 主訴は、相談の内容として主なものを計上するため、夫等の暴力の件数とDVの件数が一致しない場合がある。									

8-(3) 来所相談状況（年齢別）

来所者の年齢は、30～40 歳未満が最も多く、20 歳代から 50 歳代で約 9 割(91.2%)を占めている。

【令和7年度実績】

年代	人数
15歳未満	0人
15～18歳未満	1人
18～20歳未満	3人
20～30歳未満	119人
30～40歳未満	266人
40～50歳未満	194人
50～60歳未満	87人
60～65歳未満	15人
65～75歳未満	31人
75歳以上	8人
不明	6人
合計	730人



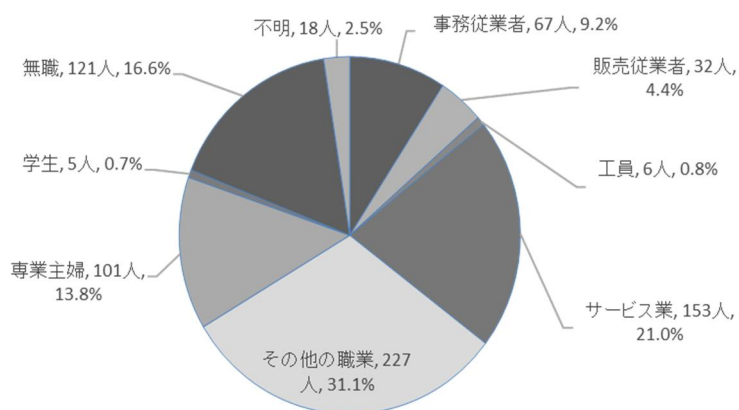
※ 割合 (%) の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

8-(4) 来所相談状況（職業別）

来所者の職業は、その他の職業が 227 人(31.1%)で最も多く、次いでサービス業が 153 人(21.0%)となっている。また、未就業者（専業主婦・無職）も 222 件(30.4%)を占めており、経済基盤が弱く、問題解決の困難性をうかがわせる結果となっている。

【令和7年度実績】

職業	人数
事務従業者	67人
販売従業者	32人
工員	6人
サービス業	風俗営業関係 0人
	その他 153人
その他の職業	227人
専業主婦	101人
学生	5人
無職	ホームレス 0人
	その他 121人
不明	18人
合計	730人



※ 割合 (%) の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

8-(5) 来所相談状況（処理別）

令和7年度受付の730件について、来所相談の処理状況は、次のとおりである。

受付件数		処 理 件 数													合 計	本年度未処理件数
前年未処理件数	本年受付件数	女性自立支援施設入所	帰宅	他機関紹介						避難支援		助言支援	一時保護※	その他		
				自治体の担当部署・福祉事務所へ	他の女性相談支援員へ	他府県・女性相談支援センター	医療機関	民間団体へ	その他の関係機関施設へ	来所時とは別の居所へ	縁故者・知人宅へ					
0	730	0	0	3	10	0	2	0	6	0	0	656	51	2	730	0

※ 「一時保護」について、来所相談を行わず、電話相談や出張相談等により一時保護決定されるケースもあるため、P25 一時保護状況の人数と一致しない場合がある。

8-(6) 来所相談状況（売春関係）

原因別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経済的理由	-	-	-	-	-
家庭的理由	-	-	-	-	-
売春強要	1件	1件	1件	-	-
本人自身	-	-	-	-	-
その他	1件	-	-	-	-
計	2件	1件	1件	-	-

※ 現に売春を行っている者を計上。

9 電話相談の状況

9-(1) 電話相談状況（経路別）

各年度とも本人自身による相談が最も多く、令和7年度は約6割(62.9%)となっている。

(単位：件)

年度 経路別	R3	R4	R5	R6	R7	
本人自身	2,251	1,820	2,156	2,376	2,054	62.9%
警察関係	134	206	225	292	215	6.6%
法務関係	67	40	66	54	59	1.8%
他の女性相談支援 センター	4	0	4	7	2	0.1%
他の女性相談支援員	286	357	413	438	332	10.2%
福祉事務所	49	50	54	80	44	1.3%
他の相談機関	357	222	268	291	308	9.4%
社会福祉施設等	9	10	6	6	6	0.2%
医療機関	9	32	27	135	64	2.0%
教育関係	12	10	4	22	4	0.1%
労働関係	-	-	-	3	2	0.1%
民間シェルター	-	-	-	10	18	0.6%
縁故関係知人	184	124	99	211	120	3.7%
DVセンター	-	-	-	-	-	-
ワンストップ支援 センター	-	-	-	5	-	-
民間団体	-	-	-	23	2	0.1%
その他	94	125	57	33	33	1.0%
計	3,456	2,996	3,379	3,986	3,263	100.0%

※ 割合(%)の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

9-(2) 電話相談状況（主訴別）

令和7年度の電話相談の主訴は、人間関係が約9割(90.7%)を占め、中でも「夫等からの暴力」が1,868件で電話相談全体の約6割(57.2%)を占めている。

主訴別			年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率		
人間関係	夫等	夫等からの暴力	1,840件	54.5%	2,134件	53.5%	1,868件	57.2%		
		薬物中毒・酒乱	12件	0.4%	19件	0.5%	10件	0.3%		
		離婚問題	256件	7.6%	253件	6.3%	217件	6.7%		
		その他	87件	2.6%	147件	3.7%	145件	4.4%		
	子ども	子どもからの暴力	17件	0.5%	87件	2.2%	45件	1.4%		
		養育困難	-	-	2件	0.1%	9件	0.3%		
		その他	51件	1.5%	110件	2.8%	88件	2.7%		
	親族	親の暴力	87件	2.6%	94件	2.4%	80件	2.5%		
		その他の親族からの暴力	40件	1.2%	75件	1.9%	49件	1.5%		
		その他	36件	1.1%	81件	2.0%	74件	2.3%		
	交際相手	交際相手からの暴力	80件	2.4%	188件	4.7%	154件	4.7%		
		同性の交際相手からの暴力	1件	0.0%	-	-	-	-		
		その他	112件	3.3%	165件	4.1%	41件	1.3%		
	その他の者からの暴力		24件	0.7%	25件	0.6%	19件	0.6%		
	男女問題		18件	0.5%	52件	1.3%	22件	0.7%		
	ストーカー被害		8件	0.2%	18件	0.5%	10件	0.3%		
	家庭不和		36件	1.1%	9件	0.2%	5件	0.2%		
	その他		55件	1.6%	180件	4.5%	125件	3.8%		
	小計		2,760件	81.7%	3,639件	91.3%	2,961件	90.7%		
経済関係	生活困窮		35件	1.0%	23件	0.6%	22件	0.7%		
	サラ金・借金		4件	0.1%	5件	0.1%	8件	0.2%		
	求職		4件	0.1%	2件	0.1%	3件	0.1%		
	その他		15件	0.4%	30件	0.8%	29件	0.9%		
	小計		58件	1.7%	60件	1.5%	62件	1.9%		
医療関係	病気		3件	0.1%	15件	0.4%	8件	0.2%		
	精神的問題		504件	14.9%	162件	4.1%	82件	2.5%		
	妊娠・出産		2件	0.1%	7件	0.2%	8件	0.2%		
	その他		3件	0.1%	22件	0.6%	21件	0.6%		
小計		512件	15.2%	206件	5.2%	119件	3.6%			
住居問題		30件	0.9%	40件	1.0%	65件	2.0%			
帰住先なし		17件	0.5%	41件	1.0%	54件	1.7%			
年少者の性的課題		-	-	-	-	-	-			
売春強要		2件	0.1%	-	-	1件	0.0%			
暴力団関係者等による支配・依存		-	-	-	-	1件	0.0%			
5条違反		-	-	-	-	-	-			
人身取引		-	-	-	-	-	-			
合計		3,379件	100.0%	3,986件	100.0%	3,263件	100.0%			

※ 比率の小数点第2位を四捨五入しているため、小計が一致しない場合がある。

※ 主訴は、相談の内容として主なものを計上するため、夫等の暴力の件数とDVの件数が一致しない場合がある。

9-(3) 電話相談状況（年齢別）

相談者の年齢は、30歳代が多く、次いで40代、20歳代となっている。

【令和7年度実績】

年代	15歳未満	15～18歳未満	18～20歳未満	20～30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～65歳未満	65～75歳未満	75歳以上	不明	合計
人数	0人	19人	25人	499人	990人	807人	373人	69人	191人	68人	222人	3,263人
割合	0.0%	0.6%	0.8%	15.3%	30.3%	24.7%	11.4%	2.1%	5.9%	2.1%	6.8%	100.0%

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

9-(4) 電話相談状況（処理別）

「助言支援」を行ったケースが2,588件で最も多く、他機関へ紹介したケースの内では、他の女性相談支援員へつないだケースが一番多く88件となっている。

【令和7年度実績】

処理状況		件数	割合
助言支援		2,588件	79.3%
来所指示		288件	8.8%
他機関紹介	女性相談支援員	88件	146件 4.5%
	福祉事務所	10件	
	市町村役場	11件	
	家庭裁判所	1件	
	児童相談所	0件	
	総合精神保健福祉センター	0件	
	保健所	0件	
	法律相談	3件	
	サラ金相談窓口	0件	
	カウンセリング	0件	
	医療機関	5件	
	警察	9件	
	その他の機関	19件	
その他		241件	7.4%
合計		3,263件	100.0%

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

10 心理面接の実施状況

一時保護入所者とその同伴児童を対象に心理面接を行っている。

心理面接を実施した内訳は、DV被害者は延べ61件中28件、同伴児童5件中DV被害者の同伴児は4件であった。

その他の暴力被害者（親、兄弟などの親族、交際相手からの暴力被害者）は、延べ61件中10件であった。

【令和7年度実績】

	一時保護所入所者							延べ件数
	面 接						知能 検 査	
	DV被害者	DV被害者 同伴児	同伴児童	その他の 暴力被害者 ※	その他	計		
4月	3件	-	-	-	-	3件	-	3件
5月	2件	-	-	-	-	2件	-	2件
6月	1件	-	-	-	-	1件	-	1件
7月	5件	-	-	-	-	5件	-	5件
8月	2件	-	-	1件	3件	6件	-	6件
9月	4件	-	-	-	4件	8件	-	8件
10月	2件	-	-	-	5件	7件	-	7件
11月	2件	-	-	1件	4件	7件	-	7件
12月	2件	-	1件	1件	2件	6件	-	6件
1月	3件	-	-	-	-	3件	-	3件
2月	2件	2件	-	4件	-	8件	-	8件
3月	-	2件	-	3件	-	5件	-	5件
合計	28件	4件	1件	10件	18件	61件	-	61件
実人員	15人	1人	1人	5人	1人	23人	-	23件

※ その他の暴力被害者は親族や子ども、交際相手等からの暴力被害者

11 こころの相談の実施状況

症状の訴えがある時や診断が必要なケースは、嘱託精神科医による「こころの相談」へつないでいる。対象は一時保護入所者及び来所者で、毎月2回実施。

また、ケースへの対応等について職員がコンサルテーションを受ける場合もある。

【令和7年度実績】

内容	入所者	来所者	計
心身の症状	15件	1件	16件
夫婦・家庭問題	-	-	-
診断	-	-	-
その他	1件	-	1件
同伴児	8件	-	8件
合計	24件	1件	25件
職員へのコンサルテーション	16件	-	16件

12 法律相談の実施状況

来所者及び一時保護入所者を対象とした法律相談を月2回実施している。

相談人数

22人（内訳 来所者4人、入所者18人）

相談内容別内訳

相談内容は64件中、離婚に関することが49件(76.6%)を占めている。

【令和7年度実績】

相談内容		来所者	入所者	計
離婚に関する こと	手続（協議・調停・裁判）	5件	8件	13件
	子の親権	3件	5件	8件
	面接交渉	3件	3件	6件
	財産分与	2件	1件	3件
	養育費	4件	6件	10件
	慰謝料	2件	2件	4件
	婚姻費用分担	1件	3件	4件
	戸籍	-	-	-
	その他	1件	-	1件
	小計	21件	28件	49件
男女問題	子の認知	-	-	-
	慰謝料	2件	-	2件
	養育費	-	-	-
	その他	-	-	-
	小計	2件	-	2件
保護命令		-	1件	1件
相続		-	1件	1件
住まいに関すること		-	2件	2件
借金に関すること		-	2件	2件
ストーカー行為に関すること		-	-	-
民事法律扶助に関すること		-	-	-
その他		-	7件	7件
合計		23件	41件	64件

13 一時保護の状況

13-(1) 一時保護状況（年次推移）

令和7年度の一時保護入所者数は53人で、前年度に比べ11人増加している。宮古・八重山の離島及び本島北部の遠隔地における迅速な保護への対応として平成16年度から一時保護委託を実施しているが、令和7年度の委託実績は7人となっている。

（単位：人）

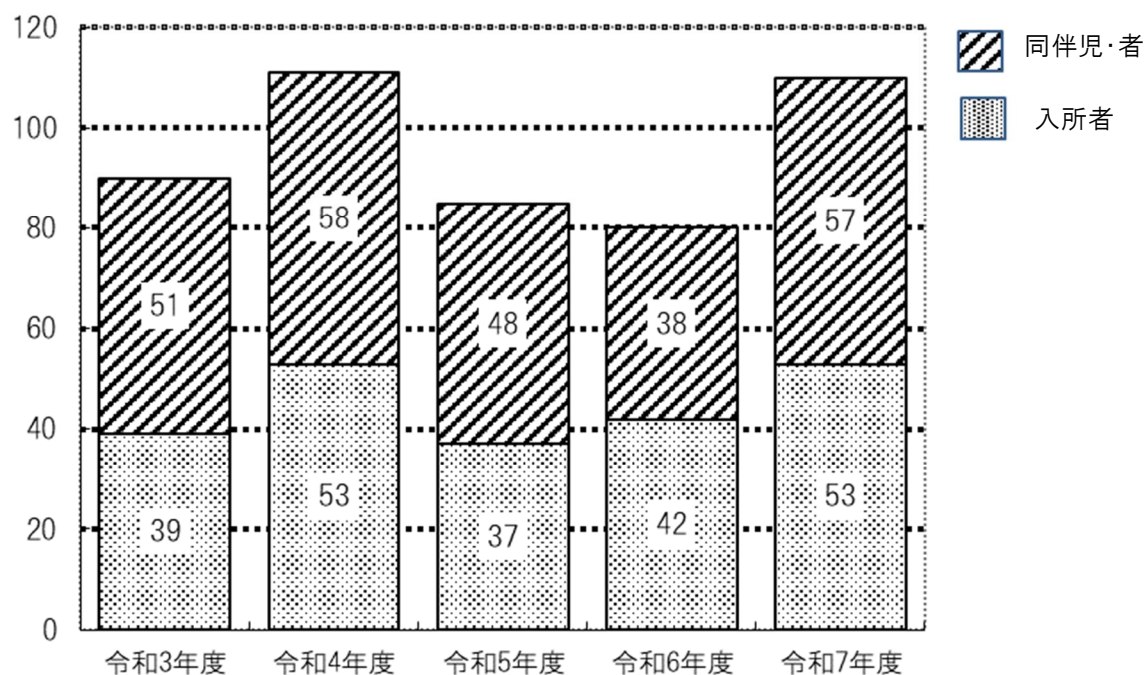
年度 区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	委託分 再掲
入所者	39 (32)	53 (48)	37 (31)	42 (37)	53 (46)	7
同伴児・者	51 (46)	58 (57)	48 (38)	38 (35)	57 (51)	10
合計	90 (78)	111 (105)	85 (69)	80 (72)	110 (97)	17

※（ ）は、DV案件の内数

※ 年度内実数で、年度繰越し等を含まない。

一時保護の年次推移

（単位：人）



13-(2) 一時保護状況（主訴別）

一時保護の主訴は、「夫等からの暴力」が最も多く、34人で6割（64.2%）を占めている。

【令和7年度実績】

主訴		人数	割合
人間関係	夫等	夫等の暴力	34人 64.2%
		酒乱・薬物中毒	- -
		離婚問題	- -
		その他	- -
	子ども	子どもの暴力	2人 3.8%
		養育不能	- -
		その他	1人 1.9%
	親族	親の暴力	3人 5.7%
		その他の親族の暴力	2人 3.8%
		その他	- -
	交際相手	交際相手からの暴力	3人 5.7%
		同性の交際相手からの暴力	- -
		その他	- -
	その他の者の暴力		1人 1.9%
	男女問題		- -
	ストーカー被害		- -
	家庭不和		- -
	その他		- -
	住居問題		1人 1.9%
	帰住先なし		6人 11.3%
経済関係	生活困窮		- -
	サラ金・借金		- -
	求職		- -
	その他		- -
医療関係	病気		- -
	精神的問題		- -
	妊娠・出産		- -
	その他		- -
不純異性交遊		-	-
売春強要		-	-
ヒモ・暴力団関係		-	-
5条違反		-	-
人身取引		-	-
合計		53人	100.0%

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

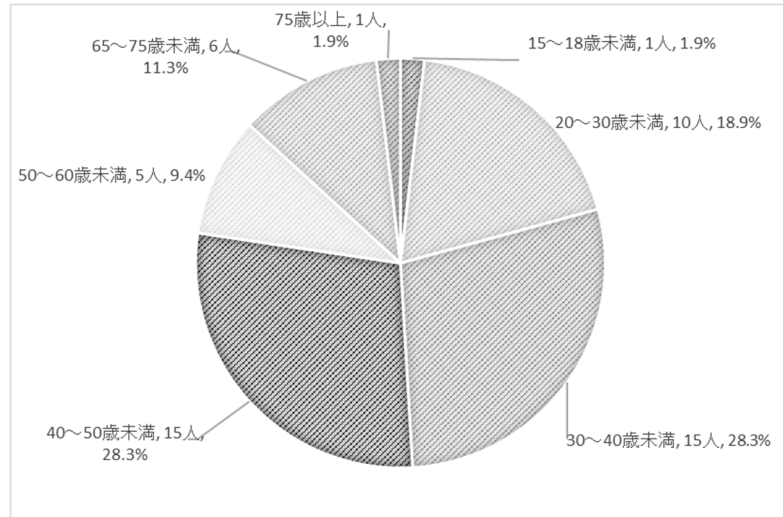
13-(3) 一時保護状況（年齢別）

入所者の年齢層は30代、40代が最も多く15人（28.3%）、次に多いのが20代の10人（18.9%）となっている。また、同伴児・者は幼児が27人（47.4%）で最も多く、ついで小学生16人（28.1%）となっている。

【令和7年度実績】

入所者

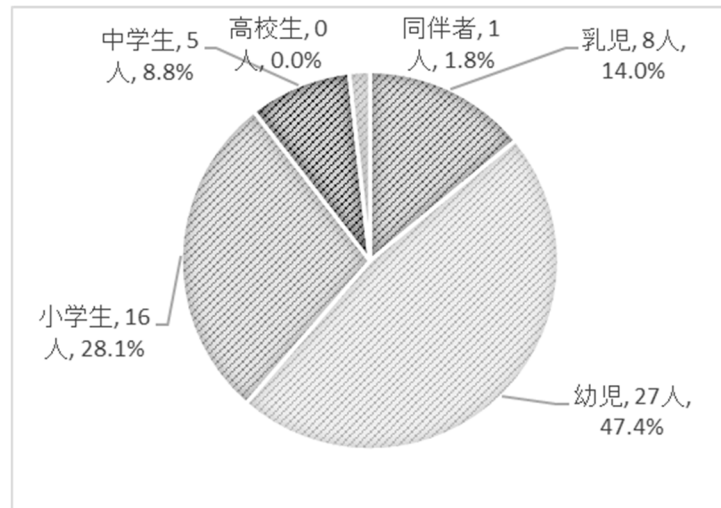
区分	人数
15歳未満	0人
15～18歳未満	1人
18～20歳未満	0人
20～30歳未満	10人
30～40歳未満	15人
40～50歳未満	15人
50～60歳未満	5人
60～65歳未満	0人
65～75歳未満	6人
75歳以上	1人
合計	53人



※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

同伴児・者

区分	人数
乳児	8人
幼児	27人
小学生	16人
中学生	5人
高校生	0人
同伴者	1人
合計	57人



※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(4) 一時保護状況（経路別）

【令和7年度実績】

経路	人数	割合
本人	11人	20.8%
警察	20人	37.7%
他の女性相談支援員	7人	13.2%
他の相談機関	10人	18.9%
福祉事務所	4人	7.5%
児童相談所	1人	1.9%
医療機関	-	-
教育関係	-	-
法務	-	-
配偶者暴力相談支援センター	-	-
その他	-	-
合計	53人	100.0%

一時保護所入所の経路は、警察経由の来所が20人（37.7%）と最も多くなっている。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(5) 一時保護状況（相談・同行支援等）

【令和7年度実績】

事務所	支援延件数	割合
女性相談支援センター	2,003件	97.4%
北部福祉事務所	-	-
中部福祉事務所	-	-
南部福祉事務所	-	-
宮古福祉事務所	50件	2.4%
八重山福祉事務所	4件	0.2%
合計	2,057件	100.0%

一時保護（委託を含む。）中の入所者等からの相談や同行支援等については、女性相談支援センターが2,003件（97.4%）と最も多い。宮古・八重山福祉事務所は一時保護委託中の支援となっている。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(6) 一時保護状況（退所先）

【令和7年度実績】

処理状況	人数	割合
前年度からの繰越人員	2人	3.6%
今年度入所人員	53人	96.4%
女性自立支援施設入所	8人	14.5%
自立（アパートへの入所）	3人	5.5%
帰宅	17人	30.9%
帰郷・実家・縁故者宅へ	15人	27.3%
病院へ	1人	1.8%
他の女性相談支援センターへ	-	-
その他の関係機関施設へ	3人	5.5%
無断退所	1人	1.8%
その他	7人	12.7%
合計	55人	100%
次年度への繰越人員	-	0.0%

一時保護後の退所先としては、帰宅と帰郷・実家・縁故者宅を合わせると32人（58.2%）で最も多い。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

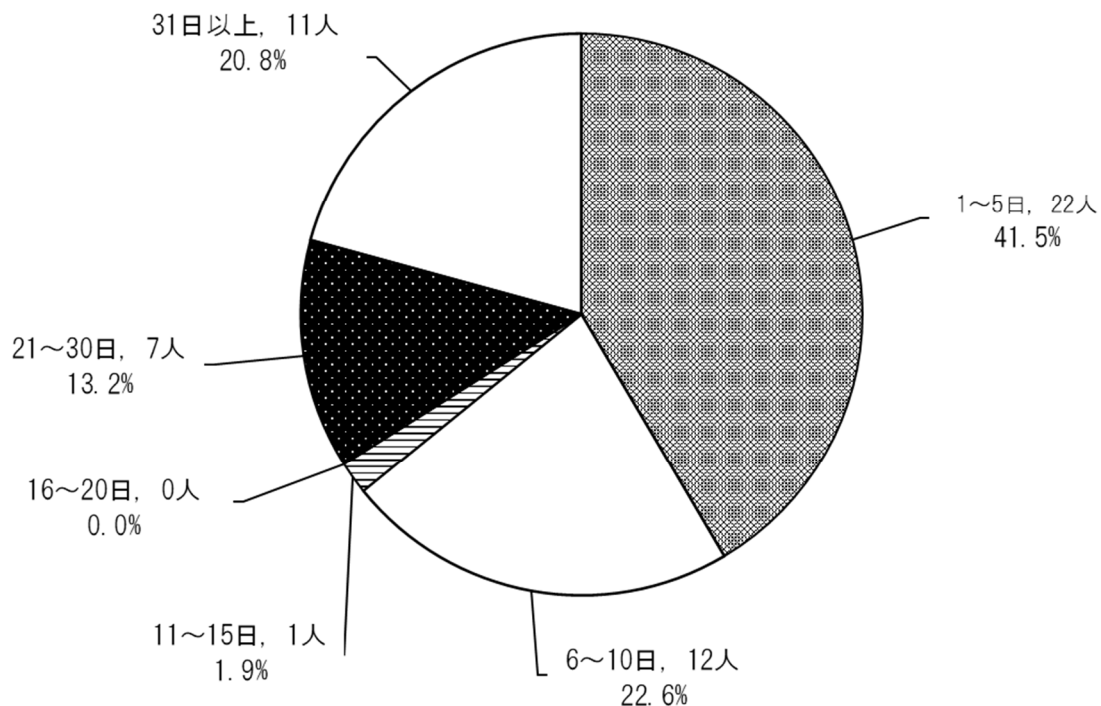
13-(7) 一時保護状況（在所期間）

平均在所期間は19.1日で、昨年度より5.4日増加した。15日以内で退所する者は、入所者の約7割(66.0%)となっている。中には1ヶ月以上入所する者もあり、入所者の心身や経済の状況、住宅確保の困難等種々の理由により、安全確保と自立までに、長期間滞在せざるを得ない状況を示している。

【令和7年度実績】									
在所期間 年度別	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	合計		平均 在所日数
							人員 a	延人員 b	b÷a 日
令和3年度	16人 (41.0%)	5人 (12.8%)	1人 (2.6%)	2人 (5.1%)	10人 (25.6%)	5人 (12.8%)	39人	578人	14.8日
令和4年度	21人 (39.6%)	5人 (9.4%)	7人 (13.2%)	6人 (11.3%)	6人 (11.3%)	8人 (15.1%)	53人	728人	13.7日
令和5年度	18人 (48.6%)	4人 (10.8%)	2人 (5.4%)	2人 (5.4%)	5人 (13.5%)	6人 (16.2%)	37人	539人	14.6日
令和6年度	20人 (47.6%)	7人 (16.7%)	4人 (9.5%)	4人 (9.5%)	1人 (2.4%)	6人 (14.3%)	42人	575人	13.7日
令和7年度	22人 (41.5%)	12人 (22.6%)	1人 (1.9%)	0人 (0.0%)	7人 (13.2%)	11人 (20.8%)	53人	1,013人	19.1日

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

【令和7年度実績】



※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(8) 一時保護状況（同伴児の学習指導・保育）

一日あたり平均約 2.4 人の同伴児が在所しており、保育を必要とする乳幼児が約 7 割 (65.5%) となっている。

	同伴児数			延べ数	1日当たり 平均人数
		学習指導	保育		
4 月	1人	0人	1人	13人	0.4人
5 月	7人	3人	4人	47人	1.5人
6 月	4人	0人	4人	40人	1.3人
7 月	8人	1人	7人	89人	2.9人
8 月	13人	3人	10人	81人	2.6人
9 月	4人	1人	3人	42人	1.4人
10 月	12人	6人	6人	64人	2.1人
11 月	9人	4人	5人	98人	3.3人
12 月	9人	2人	7人	165人	5.3人
1 月	5人	3人	2人	72人	2.3人
2 月	7人	4人	3人	109人	3.9人
3 月	5人	2人	3人	59人	1.9人
総数	84人	29人 (34.5%)	55人 (65.5%)	879人	2.4人

※ 委託先同伴児を除く。

「学習支援」は、小・中学生。「保育」は、6 歳以下の乳幼児。



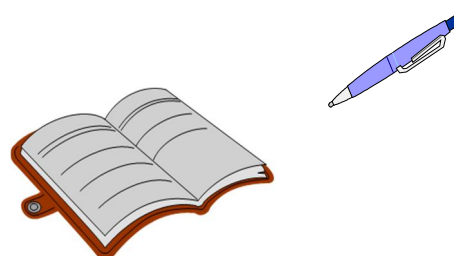
同伴児の学習支援について

同伴児は、入所期間中通学ができないため、児童支援員 2 名を配置し、学習支援等を強化している。小学生・中学生に対しては、2 時間の学習時間を週 5 日間設け、生活のリズム、情緒の安定、学習意欲の維持及び向上を図っている。

小学生・中学生の日課

午前 9:30～11:30

国語・算数・理科・社会・英語のプリント学習



Ⅲ 配偶者暴力相談支援センター（配暴センター）の状況

14 配暴センター相談の状況

14-(1) 配暴センター相談状況（相談件数）

女性相談支援センターと各福祉事務所の6か所に配偶者暴力相談支援センターの機能が付与されており、令和7年度は2,934件のDVに関する相談があった。

※ 相談件数は、本人以外の身内等からのものを含む。

【令和7年度実績】

事務所別 相談方法	来所		電話		巡回・出張		メール		その他		合計		合計
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	
沖縄県配偶者暴力相談支援センター （女性相談支援センター）	145	-	991	17	10	-	5	-	-	-	1,151	17	1,169
北部配偶者暴力相談支援センター	22	-	44	1	-	-	-	-	-	-	66	1	67
中部配偶者暴力相談支援センター	190	5	548	31	17	2	2	-	-	-	757	38	795
南部配偶者暴力相談支援センター	99	11	184	23	3	1	-	-	-	-	286	35	321
宮古配偶者暴力相談支援センター	87	1	249	4	10	-	-	-	-	-	346	5	351
八重山配偶者暴力相談支援センター	64	0	103	0	25	0	39	0	0	0	231	-	231
合計	607	17	2,119	76	65	3	46	-	-	-	2,837	96	2,934
※沖縄県配偶者暴力相談支援センターの合計には、匿名のため分類不能（電話）の1名を含む													

※ 内閣府男女共同参画局で集計し公表されている配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は、被害者本人からの相談件数となっているが、上記の件数は本人以外の身内等からの相談件数も含まれている。

※ 表中「メール」については、メールで問い合わせがあったものを計上

14-(2) 配暴センター相談状況（来所・経路別）

来所相談の合計は 624 件、経路別では、本人自身からの相談が約 7 割(72.3%)を占めている。

【令和 7 年度実績】

事務所 経路		女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
本人自身		78件	7件	179件	78件	71件	38件	451件	72.3%
警察関係		17件	2件	-	-	6件	10件	35件	5.6%
法務関係		4件	1件	-	2件	1件	1件	9件	1.4%
他の女性相談支援センター		-	-	-	7件	-	-	7件	1.1%
他の女性相談支援員		21件	4件	3件	-	4件	9件	41件	6.6%
福祉事務所		3件	-	7件	-	-	-	10件	1.6%
他の相談機関	児童相談所	1件	-	-	-	1件	1件	3件	0.5%
	民生委員	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	13件	5件	-	22件	2件	2件	44件	7.1%
	小計	14件	5件	-	22件	3件	3件	47件	7.5%
社会福祉施設等		-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関	保健所	-	-	6件	-	-	-	6件	1.0%
	医療施設	4件	-	-	1件	-	-	5件	0.8%
	小計	4件	-	6件	1件	-	-	11件	1.8%
教育関係		-	-	-	-	-	-	-	-
労働関係		-	-	-	-	-	-	-	-
民間シェルター		-	-	-	-	3件	-	3件	0.5%
縁故関係知人		4件	1件	-	-	-	2件	7件	1.1%
DVセンター		-	-	-	-	-	-	-	-
ワンストップ支援センター		-	1件	-	-	-	-	1件	0.2%
民間団体		-	-	-	-	-	-	-	-
その他		-	1件	-	-	-	1件	2件	0.3%
合計		145件	22件	195件	110件	88件	64件	624件	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

14-(3) 配暴センター相談状況（来所・年齢別）

来所相談の年齢別状況は 30 歳代が 243 人（38.9%）と最も多く、次いで 40 歳代が 180 人（28.8%）となっている。

【令和 7 年度実績】

事務所 年齢別	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
15～18歳未満	-	-	-	-	1人	-	1人	0.2%
18～20歳未満	-	-	-	-	-	1人	1人	0.2%
20～30歳未満	14人	6人	22人	14人	15人	13人	84人	13.5%
30～40歳未満	61人	1人	90人	26人	40人	25人	243人	38.9%
40～50歳未満	42人	11人	44人	43人	24人	16人	180人	28.8%
50～60歳未満	10人	1人	29人	20人	4人	6人	70人	11.2%
60～65歳未満	4人	1人	-	5人	4人	-	14人	2.2%
65～75歳未満	10人	1人	7人	2人	-	3人	23人	3.7%
75歳以上	4人	-	1人	-	-	-	5人	0.8%
不明	-	1人	2人	-	-	-	3人	0.5%
合計	145人	22人	195人	110人	88人	64人	624人	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

14-(4) 配暴センター相談状況（電話・経路別）

電話相談は合計 2,196 件、経路別では、本人自身からの相談が 5 割(55.9%)以上を占めている。

【令和 7 年度実績】

事務所 経路別		女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
本人自身		524件	24件	368件	153件	92件	66件	1,227件	55.9%
警察関係		89件	2件	18件	5件	44件	15件	173件	7.9%
法務関係		11件	-	20件	4件	18件	4件	57件	2.6%
他の女性相談支援センター		-	-	-	-	-	1件	1件	0.0%
他の女性相談支援員		128件	4件	82件	7件	57件	4件	282件	12.8%
福祉事務所		21件	-	5件	-	1件	-	27件	1.2%
他の相談機関	児童相談所	4件	-	4件	-	3件	-	11件	0.5%
	民生委員	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	102件	11件	54件	31件	19件	1件	218件	9.9%
	小計	106件	11件	58件	31件	22件	1件	229件	10.4%
社会福祉施設等		2件	-	1件	-	-	-	3件	0.1%
医療機関	保健所	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療施設	47件	-	4件	1件	-	7件	59件	2.7%
	小計	47件	-	4件	1件	-	7件	59件	2.7%
教育関係		1件	-	-	1件	-	-	2件	0.1%
労働関係		1件	-	-	-	-	-	1件	0.0%
民間シェルター		-	-	-	-	18件	-	18件	0.8%
縁故関係知人		70件	1件	12件	3件	1件	5件	92件	4.2%
DVセンター		-	-	-	-	-	-	-	-
ワンストップ支援センター		-	-	-	-	-	-	-	-
民間団体		-	-	-	2件	-	-	2件	0.1%
その他		9件	3件	11件	-	-	-	23件	1.0%
合計		1,009件	45件	579件	207件	253件	103件	2,196件	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

14-(5) 配暴センター相談状況（電話・年齢別）

年齢別状況は30歳代が最も多く719人（32.7%）となっており、次いで40歳代が586人（26.7%）となっている。

【令和7年度実績】

事務所 年齢別	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
15～18歳未満	-	-	-	-	6人	-	6人	0.3%
18～20歳未満	19人	-	-	-	-	-	19人	0.9%
20～30歳未満	159人	7人	60人	24人	53人	30人	333人	15.2%
30～40歳未満	299人	4人	241人	55人	93人	27人	719人	32.7%
40～50歳未満	270人	15人	146人	74人	61人	20人	586人	26.7%
50～60歳未満	96人	3人	73人	38人	17人	18人	245人	11.2%
60～65歳未満	33人	2人	1人	5人	2人	1人	44人	2.0%
65～75歳未満	56人	5人	22人	4人	4人	6人	97人	4.4%
75歳以上	37人	-	3人	-	-	-	40人	1.8%
不明	40人	9人	33人	7人	17人	1人	107人	4.9%
合計	1,009人	45人	579人	207人	253人	103人	2,196人	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

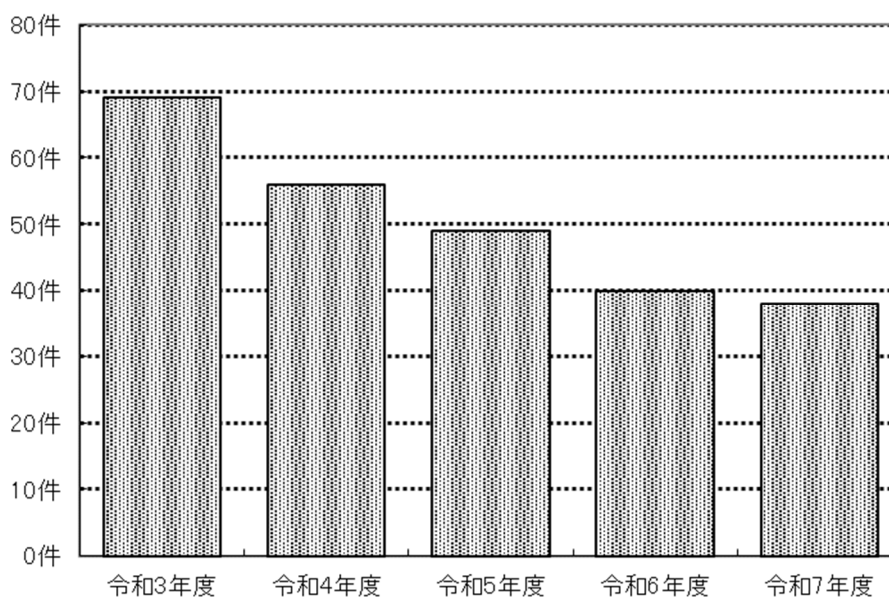
15 保護命令関係

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律第14条第2項に基づき、保護命令において管轄する地方裁判所からの求めに応じ、書面提出を行っている。

各福祉事務所にも配偶者暴力相談支援センターの機能が付与されており、より身近な地域において迅速にDV被害者の保護命令制度の活用が図られるようになっている。

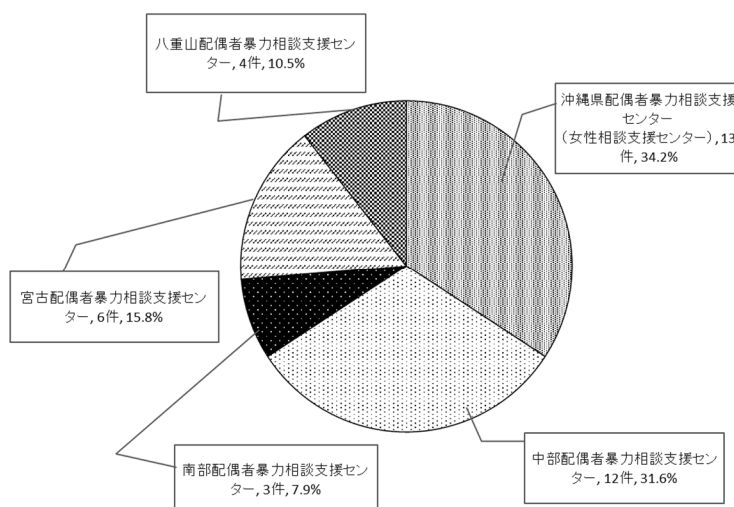
裁判所から書面提出を求められた件数

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
69件	56件	49件	40件	38件



支援センター別件数内訳（令和7年度実績）

沖縄県配偶者暴力相談支援センター (女性相談支援センター)	13件
北部配偶者暴力相談支援センター	-
中部配偶者暴力相談支援センター	12件
南部配偶者暴力相談支援センター	3件
宮古配偶者暴力相談支援センター	6件
八重山配偶者暴力相談支援センター	4件
計	38件



※ 割合 (%) の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

16 沖縄県 DV 被害者自立支援事業

本県では、配偶者からの暴力についての相談件数や、保護命令発令件数が全国でも高順位（人口 10 万人当たりで換算した場合）であることから、本県の配偶者からの暴力の被害者に対する取組を強化するため、DV 対策総合支援事業として相談体制等の強化事業や未然防止対策事業を平成 23 年度より実施している。その事業の一環として、各配偶者暴力相談支援センターでは、被害者に直接支援を行う「沖縄県 DV 被害者自立支援事業」を下記のとおり実施している。

沖縄県 DV 被害者自立支援事業の内容

(1) 保護命令支援

裁判所に対し保護命令を申請するために必要な費用の支援

(2) 住宅支援

一時保護を受けた被害者で住宅支援が必要な者に敷金・礼金等初期費用を支援

(3) 医療費支援

被害者が DV に起因する怪我等の治療に要する費用や心身の健康を回復するためのカウンセリングに要する費用の支援

(4) 同伴児童支援

乳幼児を同伴する被害者が就労支援や裁判所等を訪問するために当該乳幼児を保育所等に預けるために必要な費用の支援

(5) 緊急食費支援

DV 相談時において食事が必要な場合における食事代等の支援

(6) その他

上記以外に被害者の自立支援に必要な費用として知事が特に認めた支援

【令和 7 年度実績】

配偶者暴力相談支援センター	保護命令		住宅支援		医療費支援		同伴児童支援		緊急食費支援		その他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
女性相談支援センター	10件	42,960円	-	-	4件	30,740円	-	-	-	-	22件	99,970円	36件	173,670円
北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	10件	64,720円	-	-	8件	98,908円	-	-	-	-	-	-	18件	163,628円
南部	5件	34,898円	-	-	3件	102,100円	-	-	-	-	1件	63,230円	9件	200,228円
宮古	3件	26,650円	-	-	-	-	-	-	1件	570円	-	-	4件	27,220円
八重山	5件	44,348円	-	-	3件	24,530円	-	-	-	-	-	-	8件	68,878円
合計	33件	213,576円	-	-	18件	256,278円	-	-	1件	570円	23件	163,200円	75件	633,624円

17 若い世代における恋人からの暴力（デートDV）に係る相談状況

10代～20代の未婚の男女間における交際相手からの暴力に係る相談件数は、下記のとおりである。

なお、本項目については、配偶者暴力相談支援センターで受けた相談数に、ているる相談室（沖縄県男女共同参画センター）で受けた相談数を加えて集計している。

(1) 男女別相談件数

【令和7年度実績】

性別	件数
女性	224件
男性	1件
合計	225件

(2) 経路別相談件数

【令和7年度実績】

相談方法 \ 経路	本人自身	教育関係	親族等	友人・知人	その他	合計
来所	9件	-	-	1件	9件	19件
電話	91件	-	-	13件	100件	204件
出張・巡回	-	-	-	-	2件	2件
メール	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
合計	100件	-	-	14件	111件	225件

※ 表中「メール」については、メールで問い合わせがあったものを計上

(3) 機関別相談件数

【令和7年度実績】

機関名 \ 経路	本人自身	教育関係	親族等	友人・知人	その他	合計
沖縄県配偶者暴力相談支援センター (女性相談支援センター)	95件	-	-	13件	84件	192件
北部配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	-	-	-
中部配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	-	1件	1件
南部配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	-	-	-
宮古配偶者暴力相談支援センター	1件	-	-	-	15件	16件
八重山配偶者暴力相談支援センター	2件	-	-	1件	11件	14件
ているる相談室	2件	-	-	-	-	2件
合計	100件	-	-	14件	111件	225件

令和８年度
女性支援事業のあらまし（令和７年度実績）
令和８年９月発行

発行 沖縄県女性相談支援センター
TEL 098-854-1160（事務専用）
FAX 098-854-1177